

# 計算テストの意義・利点・やり方について

修学館 高等部

東進衛星予備校 館林緑町校

【コンセプト】高校数学の学習の中で等閑視されがちな「単純計算」「単純作業」ではあるが、大学入試の現場では決定的な意味を持っている（特にセンター試験）。その直接的な対策を行う。

【キーワード】処理能力・解法の見通し・自力解決力

- (A) 学校で使っている傍用問題集を使用する。自分で問題数を決めて丁寧に演習する。  
自己採点し、記録する、間違えた問題はやり直しをする。
- (B) 単純計算問題（作業問題）をコンスタントに行うことにより、大学入試で最も必要とされる処理能力をアップさせる。
- (C) 慣れにより計算ミスが減る。
- (D) 自分のミスの癖が把握でき、試験中に自分のミスに気が付くようになる。
- (E) たとえば「数Ⅱの微積分」で必要とされる能力の大部分は「式の展開と因数分解」だったり、「場合の数・確率」で問われる能力は「数え上げの単純作業」だったりする。  
面倒くさい事を我慢してやり抜く能力は大学入試の数学の問題を解くのにかなり重要である。
- (F) 解説した後で「言われれば分かるのですが・・・」というようなことをよく聞くが、計算力や作業能力が上がれば、実際に自分で解決できるようになる場合も多い。
- (G) 端的に言うと、「大学入試＝計算力」である。

※大学入試で「計算力」と「単純作業能力」以外で要求される能力には、

- ①典型問題の解法暗記&再現能力
- ②論証能力
- ③初見の問題に対して、試行錯誤して問題に隠された数学的パターン・規則性を見つけ出す能力  
などがある。
- ①と②は特に重要である。